

OSボックスのセキュリティ機能 概略



ライセンス機能

パスワード機能

セキュリティコード機能

セキュリティ機能 + α

非公開のKAMコーデック

いくら、セキュリティ機能が強力でも、設定をしないと同じです。
しかし、KAMコーデックは、非公開のコーデックです。
ということは、コーデックそのものが暗号のようなもの。
万が一、設定を忘れても、誰でも映像が見えるというわけではありません。

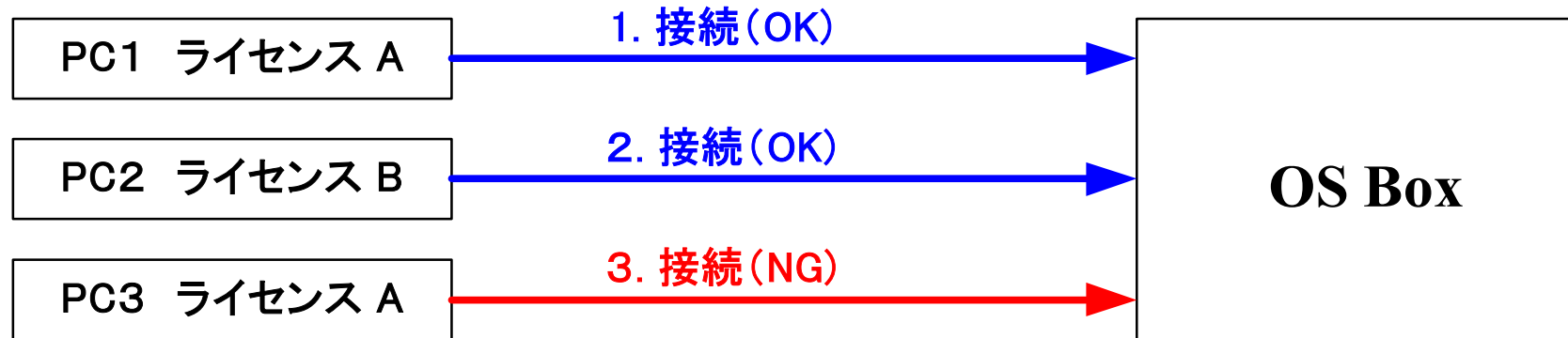
特殊なプロセッサとOS

OS Boxは、汎用OSを利用していません。
プロセッサも特殊なマルチメディア用DSPです。
従って、ウイルスなどの感染の恐れがありません。



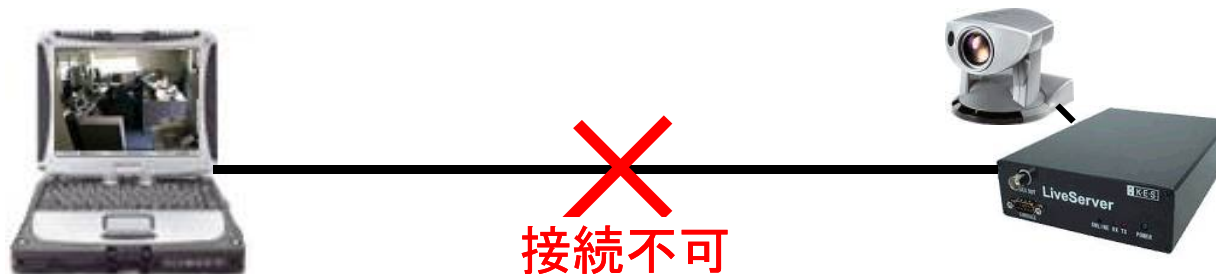
ライセンスキー

不正コピーの防止。侵入者の排除。



(不正コピー)

※異なるPCから、同一ライセンスコードでのアクセスを拒否



ライセンス キーの解説

ライセンスキーは、不正にインストールしたプログラムでライブサーバーにアクセスすることを防止するものです。
同じライセンスキーで異なるPCからアクセスした場合、ライブサーバーに接続することはできません。
ライセンスキーは、クライアントPCに設定するコードです。
ライブサーバー1台に5つのライセンスキーが付属しています。
ライセンスキーを設定したPCでは、ライセンスキーが必要なすべてのプログラムが動作します。

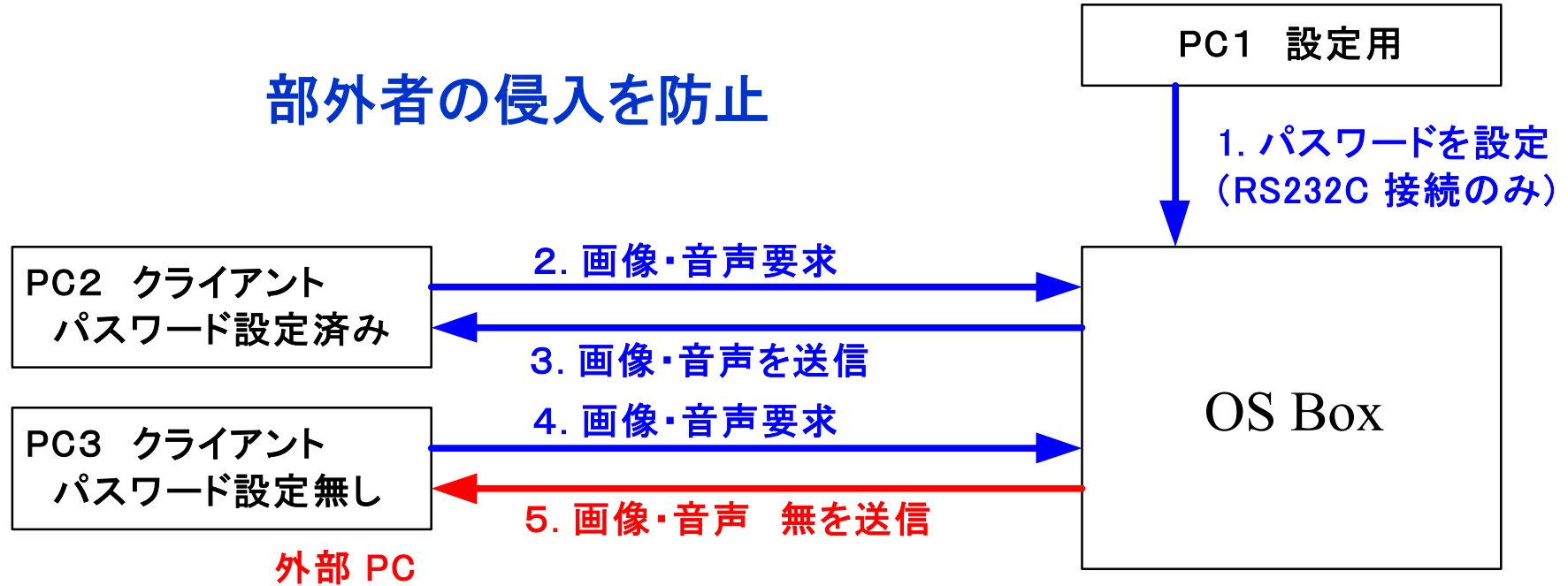
プログラムを入手しても、

ライセンスキーがなければ、利用不可

※ ソフトは動作しても、接続できません。

パスワード機能

部外者の侵入を防止



映像・音声を送信しません



パスワード機能の解説

パスワード機能は、**部外者**がライブサーバーにアクセスし、映像や音声を視聴することを**禁止**するものです。
パスワードは、**RS232Cケーブル**を使って**設定**します。 ネットワーク経由での設定はできません。
一度、設定すると、**変更**や**解除**は**パスワードの入力が必要**になります。
クライアントから映像や音声を視聴するには、ライブサーバーに接続後、**パスワードを送らなければなりません**。
正しいパスワードを送らないと、映像も音声も送られません。

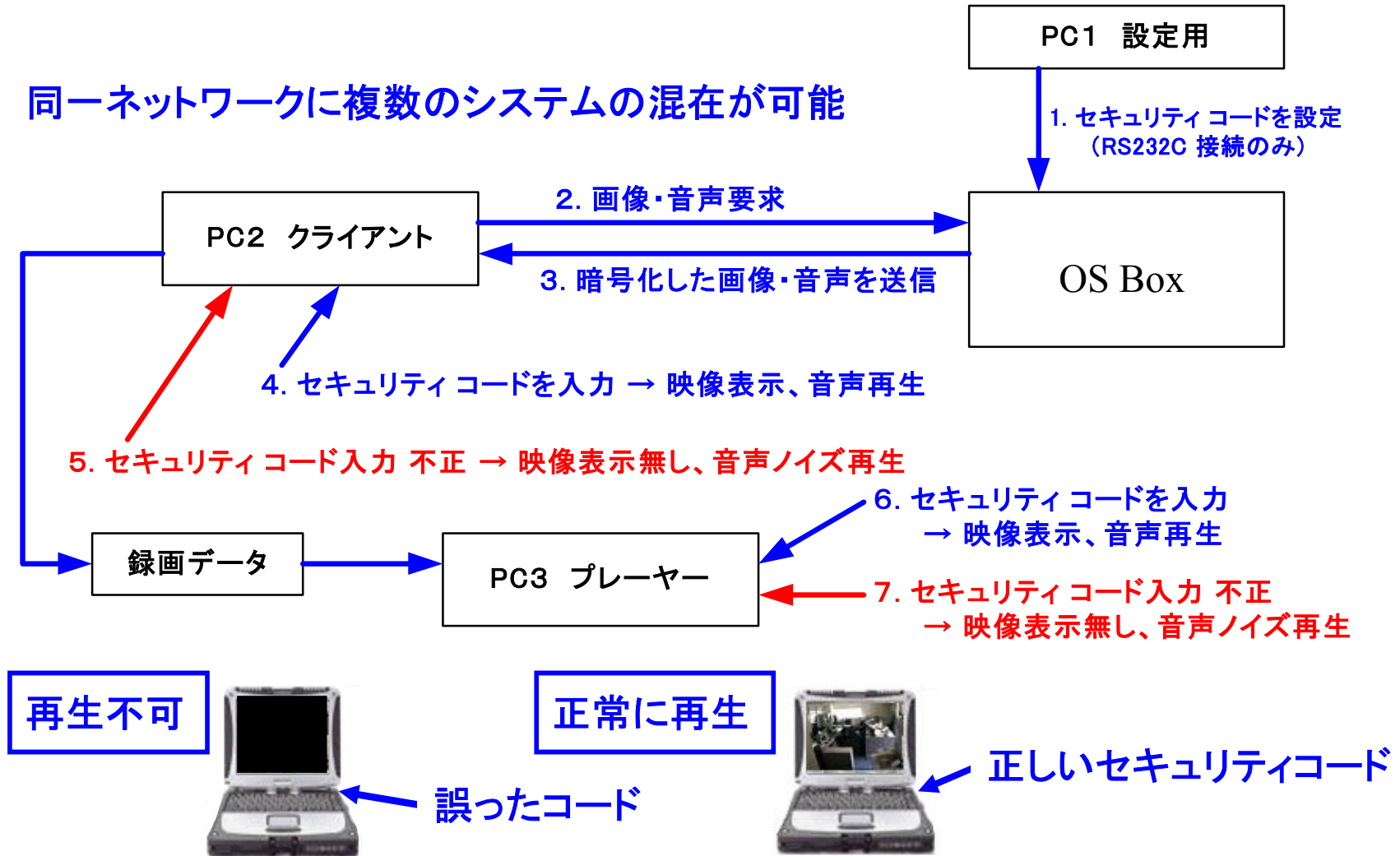
会社のパソコンでは映像が見えたのに

自宅のパソコンからは、見えない

※ 会社のパソコンからパスワードを読み取ることはできません。

セキュリティコード

同一ネットワークに複数のシステムの混在が可能



録画・録音データは、コードがわかれば、再生可能

セキュリティコードの解説

セキュリティコードは、セキュリティコードを知っている人しか視聴できないようにするものです。
セキュリティコードは、映像や音声信号に組み込まれ、暗号化されます。
従って、視聴する側でセキュリティコードを知っている必要があります。
正しいセキュリティコードを入力しないと視聴はできません。
セキュリティコードを使うと、同じ録画サーバーを他の人と共有しても安全です。

CDやDVDなどにコピーしても、

コードを知らない人は視聴できない

※ 定期的に、又、サーバー毎にコードを変えると、さらに安心。